

穂香タイムス

令和3(2021)年12月

編集・発行：北海道立北方四島交流センター(二・ホ・ロ)

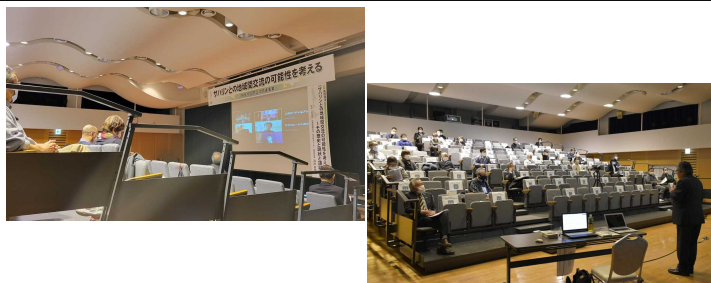
☎ 087-0037 北海道根室市穂香 110-9 / ☎ 0153-23-6711



北方四島交流センター(二・ホ・ロ)の最近の出来事

北方領土対策に関する専門家会議

サハリンとの地域間交流の可能性を考える



11月20日、北海道や稚内市とサハリンとの交流をテーマに講演会とシンポジウムが当センター交流ホールにて行われました。

長年サハリンと幅広い分野で交流をしている北海道や稚内市の取組みを参考に、根室市とサハリンの今後の地域間交流に生かそうと企画されたもので、市民ら約40人が参加しました。

陸揚庫の保存と活用を考える

「公開ヒアリング」と「意見交換会」



12月5日、「根室国後間海底電信線陸揚庫」の保存と活用に向けて市民らの提案や意見を聴く公開ヒアリングと意見交換会が当センター交流ホールにて行われました。

北方領土啓発施設としての活用や根室市の歴史・名所等を組み合わせたストーリーの必要性について意見が上がりました。

オンライン交流

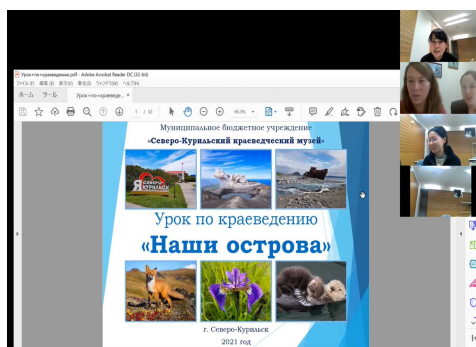
色丹島在住ロシア人らとのオンライン交流



11月7日、色丹島のロシア島民と初となるオンライン交流会が当センター交流ホールで行われました。

市民団体「ビザなしサポーターズたんぽぽ」(代表：本田幹子さん)のメンバーと色丹島元島民の得能宏さんが参加し、新型コロナウイルス感染症の影響でビザなし交流の中止が続く中、ウェブ上で会話を交わし、親交を深めました。

姉妹都市セベロクリリスクとオンライン交流



11月26日、姉妹都市のセベロクリリスク市と根室市のオンライン交流会が当センター視聴覚室で行われました。

お互いの近況を話したり、セベロクリリスク市・千島列島の自然についてのプレゼン、また、根室市のゴミの分別に関するプレゼン等が行われました。

2021 北方領土パネル展 in Tokyo

12月1日から3日まで、東京都新宿駅西口地下広場イベントコーナーにて、「2021 北方領土パネル展 in Tokyo」が開催されました。

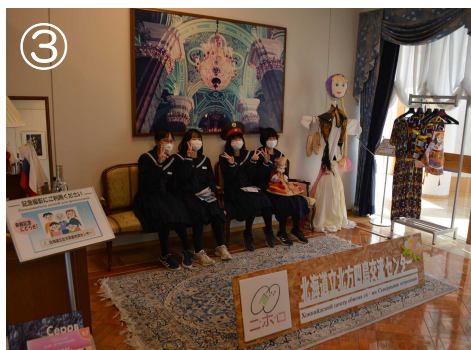
北方四島の現状や北方領土に関するパネルをはじめ、北方四島のジオラマ、北方領土で暮らしていた元島民の方が当時実際に使用していた生活用品、北方四島周辺に生息している動物のはく製などが展示され、来場者は理解を深めていました。



北方少年少女塾

- ①根室市立花咲港小学校2～6年生 (令和3年11月4日) 講話・館内見学
- ②別海町立上西春別小学校6年生 (令和3年11月4日) 自由見学
- ③別海町立別海中央中学校2年生 (令和3年11月9日) 自由見学・講話
- ④別海町立別海中央小学校6年生 (令和3年11月18日) 自由見学・講話
- ⑤根室市立花咲小学校6年生 (令和3年11月19日) 館内見学・講話
- ⑥別海町立野付小学校5年生 (令和3年11月26日) 講話・自由見学
- ⑦根室市立北斗小学校5年生 (令和3年11月30日) 講話・自由見学

先月も北方少年少女塾で根室管内からたくさんのお子さん・生徒が訪れました！



先月の青少年現地視察団さま

11/5 奈良県青少年現地視察団



青少年現地視察団とは？

独立行政法人北方領土問題対策協会が、全国の青少年を対象に行っている派遣支援事業です。

中学生等で構成される青少年現地視察団が北方領土を視察したり、元島民の講話を聞くなどの機会をとおして、北方領土問題を身近な問題としてとらえ、返還要求運動を継承してもらうことを目的に実施されています。

北方領土返還要求運動奈良県民会議の青少年現地視察団（奈良県の中学生 15名）が来館しました。当センターでは説明員による館内見学を行い、北方領土についての理解を深めていました。

先月の来館者さま（令和3年11月）

26日

内閣府北方領土隣接地域
下見ツアーの皆さま



28日

黒部市
親善スポーツ交歓団の皆さま



ОБЪЯВЛЕНИЯ 二ホロからお知らせ

「四島返還」アピールイルミネーション

点灯しました！



今年の一文字は、「初」に決まりました！

「初」めでの試みや新しいアプローチで四島返還を求めていきたいという二ホロ職員の想いが込められています。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！

■点灯期間：令和3年12月1日（水）から令和4年2月8日（月）まで

※休館日（月曜日・年末年始12月31日から1月5日）を除く

■点灯時間：午後4時から午後5時

※夜間貸館利用がある場合は、午後9時まで

年末年始のご案内

当センターは、

令和3年12月31日（金）から
令和4年1月5日（水）まで
お休み となります。

なお、年明けは令和4年1月6日（木）より開館となりますので、よろしくお願いたします。

С наступающим
Новым годом!
(良いお年を！)

